

原子力災害による環境・生態系影響 リスクマネジメントプログラム (ENEP)

2016年度
新規開設

環境科学専攻履修証明 (Certificate)プログラム

福島事故から5年——事故から得られた知見と技術を世界と共有し、環境・生態系への影響評価とリスク管理に貢献！

原子力災害による環境・生態系への影響評価、リスクマネジメント分野で、世界をリードする人材育成！

- ・放射性核種の自然環境中の動態を理解する。
- ・平時から原子力災害時までの環境モニタリングやリスク管理技術を修得する。
- ・環境、産業、経済、健康等への包括的な影響評価に関する基礎力、実践力を身につける。

国内外の連携機関の協力のもと、
機関横断的な教育体制を構築！

国内機関一例：

青森県原子力センター、気象研究所、国立環境研究所、産業技術総合研究所、日本原子力研究開発機構、農業環境技術研究所、福島県環境創造センター、量子科学技術研究開発機構

海外機関一例：

国際原子力機関(IAEA)、フランス放射線防護・原子力安全研究所(IRSN)、フランス気象環境科学研究所(LSCE)、リバプール大学、プリマス大学、ウクライナ水文気象研究所(UHMI)、Ukrainian Institute of Agricultural Radiology (UIAR)、サバンナリバー国立研究所(SRNL)

イギリス、フランス、ウクライナ、アメリカ等、
世界の原子力災害被災地を見学・調査！



次世代の原子力災害リスク分野の国際的リーダー

充実した教育体制と旅費支援により、高度な知識と技術を修得。

講義(一部のみ)をオンラインで公開！
プログラム参加者の理解促進と一般の理解・関心を喚起します。

開講科目はいずれも、環境科学専攻の専門科目であるため、
専攻の通常の修了要件単位とすることが可能です。

専門科目として必修科目(講義)6単位(集中授業が主体)、
および選択必修科目(国内インターンシップ、または海外特別実習)
2単位以上を履修することにより、本プログラムの履修証明
(Certificate)を授与します。

履修証明が授与されるためには、環境科学専攻入学後に、
本プログラムへの登録が必要です。プログラム登録に際しては、
指導教員とよく相談して下さい。

プログラムへのお問い合わせは

(実施代表者 筑波大学大学院生命環境科学研究科 辻村真貴教授)
【ENEP事務局】担当:竹中、高橋
TEL/FAX: 029-853-5960 E-mail: enep@ied.tsukuba.ac.jp
<Website> <http://enep.ied.tsukuba.ac.jp/>

*本プログラムは、文部科学省国際原子力人材育成イニシアティブ事業(原子力人材育成等推進事業費補助金)の補助を受けて実施しております。



目標



専門家による
講義



海外実習

主な教員

恩田裕一
教授



浅沼 順
教授



末木啓介
教授



加藤弘亮(准教授)
坂口 綾(准教授)
山路恵子(准教授)
関口智寛(講師)
高橋純子(助教)



ENEP Expert Program of Environmental Management and Prognosis of Nuclear Emergencies
原子力災害による環境・生態系影響リスクマネジメントプログラム

筑波大学
University of Tsukuba

アイソトープ環境動態研究センター
CENTER FOR RESEARCH IN ISOTOPES AND ENVIRONMENTAL DYNAMICS
CRIED

産学官連携
原子力人材育成ネットワーク
Nuclear Human Resource Development Network